



実り豊かな生活文化都市

# 中央市 議会だより

Vol. 71

11月  
2023



## 特集 災害時の P2 応援協定

- P 4 令和4年度決算概要
- P 8 9月定例会で決まったこと
- P 11 審議結果
- P 12 市長の行政報告
- P 13 一般質問に9議員
- P 17 委員会レポート
- P 20 市民の談話室・編集後記



第3回定例会において市長の行政報告のなかで、8月27日に総合防災訓練を実施した旨の報告がありました。議員も、それぞれの自主防災会等の訓練に参加しつつ、議員間の情報伝達訓練を実施しました。

今年度は超大型台風の接近に伴う早期避難を想定した訓練が実施され、自主防災会によっては、官民連携による災害対応能力向上の一環として、協定締結施設等への避難など実践的な訓練を行いました。今回は災害時応援協定を特集します。

## ○「洪水時避難施設使用」に関する協定締結施設位置図

3ページの協定締結施設を各番号で地図に示しました。施設の位置を確認しておきましょう。



## ○災害時応援協定

災害時の応援協定では、「建設資機材等の提供」に関する協定（災害時に重機や仮設ハウス等の提供）や、「食料品、生活必需品の物資供給」に関する協定（食べ物や毛布等の物資の提供）、「洪水時避難施設使用」に関する協定（洪水が起きた際に施設を避難所として使用できる）など、内容や締結先が多岐にわたっています。

今回はその中で「洪水時避難施設使用」に関する協定を紹介します。

### ●「洪水時避難施設使用」に関する協定一覧（締結順）

	締結先	協定名
①	(株)いちやまマート	洪水発生時における避難施設としての使用に関する協定
②	富士観光開発(株)	洪水発生時における避難施設としての使用に関する協定の覚書
③	中巨摩地区広域事務組合	災害発生時における避難施設としての使用に関する協定
④	(株)はくばく	洪水時における避難施設としての使用に関する協定
⑤	協同組合山梨県流通センター	洪水時における避難施設としての使用に関する協定
⑥	(株)日医工山梨	洪水時における避難施設としての使用に関する協定
⑦	むろい(株)	洪水時における避難施設としての使用に関する協定
⑧	ルートインジャパン(株)	災害時における緊急避難地としての使用に関する協定
—	山梨市	災害時における広域避難に関する協定
—	山梨県及び県下 26 市町村	山梨県における広域避難等に関する協定
⑨	富岳通運(株) (山梨中央ロジパーク)	災害時における避難施設としての使用及び支援協力に関する協定

これらの協定は、災害時に締結先が使用の許可を認めた場合に限りです。

施設によって、屋上駐車場や建物の一部など、避難所として使えるスペースが決まっています。

上記以外にも県外の市など、どちらかが被災した際に、避難先や人員を提供し合う「災害時相互応援協定」も結んでいます。また、今後も新たにさまざまな企業や自治体と災害協定を結んでいく予定です。

### 防災無線テレフォンサービス

0120-609-990（無料）

055-273-9990（通話料がかかります）

### 防災無線メール

QRコードを読み込み  
空メールを送信。確認メールが  
届くので指示に従って登録してください。



- ・避難所開設の情報はテレビや市のホームページ、防災無線等で広報するので、いざという時には必ず確認をするようにしましょう。
- ・雨や風の音で防災無線が聞こえづらくなることも考えられます。そういった時には防災無線で放送した内容を聞き直せる「防災無線テレフォンサービス」や放送内容のメールが届く「防災無線メール」サービスが便利です。

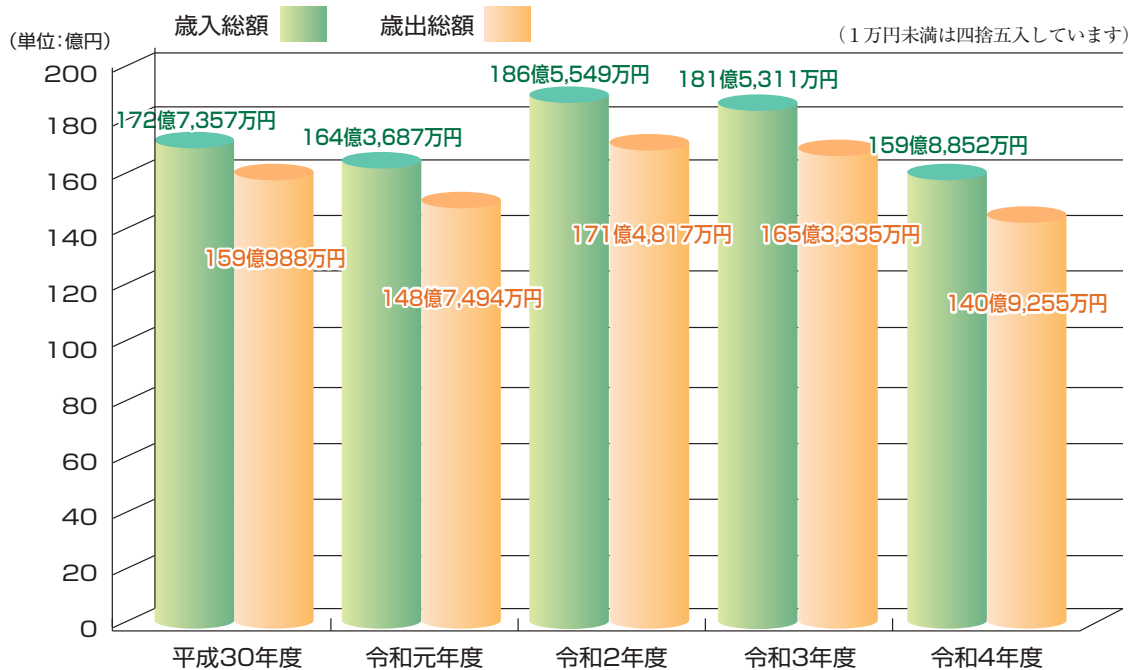
現在、市では新たに県の中小河川のハザードマップを追加し、避難指示の発令基準の変更等を入れた新しい中央市防災マニュアルを作成中です。完成後、全世帯へ配布される予定です。

## 令和4年度 一般会計

# 歳出 140億9,255万円 を認定

9月定例会が、9月1日から22日までの22日間の会期で開催され、市長提案の令和4年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出決算認定10件、条例案件4件、補正予算7件、その他の案件4件と報告3件、また、請願1件、意見書1件を審議しました。

## 過去5年間の決算額の推移



一般会計の決算額は、歳入総額159億8,852万円、歳出総額140億9,255万円  
で歳入歳出差引額18億9,597万円となりました。

財政状況を表す経常収支比率(※1)は87.9%と昨年度よりも6ポイント増加し、財政力指数(※2)は0.66となりました。

## ※1 経常収支比率

政策的にある程度自由に使える金額と、人件費や社会保障費、借金の返済など使い道が決まっています縮減が難しい金額との比率を指します。この数値が高いと新規事業や臨時の費用が必要ときに資金を充てることが難しくなってしまいます。

## 用語解説

## ※2 財政力指数

財政力の強弱を示す指数で、経常収支比率とは反対に、数値が高いほど(1.00に近い、あるいは1.00を超えるほど)財政に余裕があるとされています。

## 中央市の借金と貯金の状況は？

借金(市債の令和4年度末現在高) 276億1,785万円

貯金(基金の令和4年度末現在高) 90億1,987万円

※一般会計・各種特別会計・企業会計を含む

市民1人あたり…約90万円

市民1人あたり…約29万円



## 令和4年度一般会計・特別会計決算額

(1万円未満は四捨五入しています)

会 計		歳 入	歳 出	差引額
一 般 会 計		159億8,852万円	140億9,255万円	18億9,597万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	31億0,137万円	30億5,101万円	5,037万円
	後 期 高 齢 者 医 療	3億4,688万円	3億4,680万円	8万円
	介 護 保 険	22億7,370万円	21億2,829万円	1億4,542万円
	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	1,185万円	1,185万円	0円
	田 富 よ し 原 処 理 セ ン タ ー 事 業	1億4,457万円	7,825万円	6,632万円

(1万円未満を四捨五入しているため、差引額が一致しない場合があります。)

## 討 論

### 一 般 会 計

反  
対

反対の理由は、国民健康保険特別会計からの繰り入れがあるため。国民健康保険は元々低所得者が多い反面、他の公的保険よりも保険税が高くなる傾向がある保険制度で、現在の物価高は低所得者にも重くのしかかっている。この状況下では国民健康保険特別会計からの繰り入れは中止し、被保険者への支援をすべきと考えるため。

### 国 民 健 康 保 険 特 別 会 計

反  
対

一般会計の反対討論でも触れたとおり、一般会計への繰り出しがある。一般会計への繰り出しが可能な財源があるのであれば、市は国保税の引き下げなどの被保険者への支援を行うべきで、一般会計への繰り出しは行うべきではなかったと考えるため。

## 令和4年度各企業会計決算額

(1万円未満は四捨五入しています)

	収益的収入および支出		資本的収入および支出	
	収入	支出	収入	支出
簡易水道事業会計	2億1,830万円	1億7,095万円	4,200万円	1億3,284万円
公共下水道事業会計	7億9,632万円	7億5,698万円	6億6,239万円	7億5,815万円
農業集落排水事業会計	2億3,785万円	2億3,379万円	1億2,969万円	1億6,055万円
上水道事業会計	2億7,867万円	2億4,267万円	6,595万円	2億1,147万円

### 収益的収入及び支出

一事業年度における営業活動により発生する収入とそれに対応する支出  
 <収入> 料金収入、受取利息など  
 <支出> 人件費、物件費、固定資産の減価償却費など

## 用 語 解 説

### 資本的収入及び支出

施設の整備やこれからの建設改良に係る支出とその財源となる収入  
 <収入> 企業債、国庫補助金など  
 <支出> 建設改良費、企業債元金償還金など

## 財政健全化判断比率および資金不足比率

都道府県や市区町村には「実質赤字」「連結実質赤字」「実質公債費」「将来負担」の4つの指標と公営企業会計ごとの「資金不足」の比率を毎年度公表することが義務づけられています。一定の基準を超えると、財政健全化計画を策定して県や国への報告が必要になったり、総務大臣の許可を得なければ地方債が発行できなくなったりします。

中央市の令和4年度の数値は以下のとおり全て基準を下回っており、財政状況が著しく悪化している状況にはないことが示されました。

### 令和4年度 財政健全化判断比率

(単位:%)

健全化判断比率	令和4年度	令和3年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	— (▲19.25)	— (▲14.84)	R3年度 13.58 R4年度 13.63
② 連結実質赤字比率	— (▲28.62)	— (▲23.04)	R3年度 18.58 R4年度 18.63
③ 実質公債費比率	7.0	7.6	25.0
④ 将来負担比率	0.5	—	350.0

※ ーは黒字を表し、( )内は参考数値です。また、将来負担比率のーは将来負担額に充当可能な財源額が将来負担額を上回っていることを示します。

## 用語解説

○**実質赤字比率**… 一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率

○**連結実質赤字比率**… 全会計を対象とした実質赤字額または資金の不足額の標準財政規模に対する比率

○**実質公債費比率**… 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、3か年度の平均

○**将来負担比率**… 損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

○**標準財政規模**… 標準的な状態で、通常収入されると見込まれる経常的な一般財源の規模を示すもの ※令和4年度中央市は84億9,153万円

### 令和4年度 資金不足比率

(単位:%)

事業会計	令和4年度	令和3年度	経営健全化基準
上水道事業会計	— (▲147.1)	— (▲133.5)	20.0
簡易水道事業会計	— (▲108.7)	— (▲101.2)	20.0
公共下水道事業会計	— (▲11.0)	— (▲4.2)	20.0
農業集落排水事業会計	— (▲189.4)	— (▲170.1)	20.0

※ ーは黒字を表し、( )内は参考数値です。

### 資金不足比率とは

地方公共団体の各公営企業会計の資金の不足額の度合いを表す指標。公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較することで、経営状態の悪化の度合いを示す指標。

# 監査委員の決算審査意見書

要 旨

監査委員

佐藤 中 小  
藤 橋 池  
英 章  
徳 治

## 〈審査の期間〉

令和5年7月3日(月)～26日(水)

## 一般会計・特別会計

### 〈審査の結果〉

各会計の決算書および資料は関係法令に準拠して作成され正確で、予算の執行状況も適正である。また、基金の運用状況も妥当である。

### 〈決算の要旨〉

一般会計の歳入面において、自主財源は、市税等が増加し、自主財源比率が0.34ポイント上昇し、49.34%となっている。

歳出面では、総務費、農林水産業費、商工費、消防費、公債費が増加し、議会費、民生費、衛生費、土木費、教育費、諸支出金が減少した。義務的経費においては電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業等の増額はあったが新

型コロナウイルス関連施策の大幅な減額により減、投資的経費においても子育て支援総合拠点施設整備事業等の減額により大幅な減となった。

特別会計は5会計の合計で、歳入総額が58億7,838万円、歳出総額56億1,620万円で、歳入歳出差引残高の形式収支は2億6,218万円で実質収支も同額となり、単年度収支は2,412万円の黒字となった。

### 〈監査委員の意見〉

新型コロナウイルスの度重なる感染拡大、国際情勢に起因する物価高などにより、先行きの見通せない状況の中、様々な工夫により費用の削減に取り組んでいた。

「心」あるまちへ活性化キャンペーン第3弾」では、市内中小企業等の地域経済活動の活性化に積極的に取り組む、住民サービス向上等、円滑な事業推進に努めていた。

収支は黒字であったものの、今

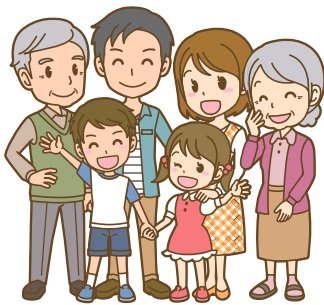
後も社会経済情勢が不透明であり、安定した財源の確保が難しいことが想定される。歳出においては、高齢化対策費、子育て対策費の増加及び教育施設や公営住宅の長寿命化対策費確保等により増加が見込まれる。このような状況を踏まえ、適切な市民サービスの持続的な提供のため、市税の確実な収納はもとより、ふるさと納税の活用など、さまざまな形で自主財源の安定的確保を図る必要がある。引き続き他市町村等の効果がある必要な施策を積極的に収集し、合理的、効率的、公正な事業を取り組むよう提言する。

### 〈審査の結果〉

公営企業会計4会計について、決算諸表は、いずれも関係法令の規定に適合し正確であり、内容も正当である。また、会計諸帳票、証拠書類等の事務管理についても、公正かつ適切に処理され、正確なものである。

### 〈監査委員の意見〉

公営企業会計4会計については、費用の削減や効率的な設備維持に積極的に取り組み、サービスの向上に努めている。今後も安定したサービス提供の維持のため、設備の改修工事など積極的に推進する必要があることから、費用の削減等、安定した財源の確保に努められたい。



決算以外の9月定例会に上程された案件は以下のとおりです。

## 一般会計補正予算 (1万円未満は四捨五入しています。)

# 3億4,145万円を増額 一般会計総額 153億9,716万円に

### 一般会計補正予算の主な内容

● <b>総務費</b>	財産総合管理費(小井川駅駐輪場防犯カメラ設置工事)	174万円
	行政事務電算化推進事業	517万円
	移住定住推進事業 (移住定住支援金交付事業・奨学金返還支援事業)	1,700万円
● <b>民生費</b>	保育園施設整備事業(統合保育園建設に係る施設整備事業)	1,233万円
● <b>農林水産業費</b>	治山林道管理事業 (「山の神千本桜」登山道入り口付近大鳥居林道舗装工事)	169万円
● <b>土木費</b>	道路橋梁新設改良費 (市道3169号線歩道整備事業における設計業務委託料)	322万円
	公園管理費(健康遊具設置工事)	200万円
	都市公園建設事業(健康遊具設置工事)	328万円
● <b>教育費</b>	リニア建設に伴う田富北小学校移転整備事業 (新グラウンド整備事業)	2億1,716万円
	埋蔵文化財発掘調査事業(上窪遺跡及び大鳥居宇山平遺跡)	1,554万円

## 特別会計の補正予算

会計名	補正額	総額
国民健康保険特別会計	▲444万円	32億1,096万円
後期高齢者医療特別会計	60万円	4億720万円
介護保険特別会計	8,548万円	22億6,326万円
地域包括支援センター特別会計	▲169万円	1,137万円



## 企業会計の補正予算

### 簡易水道事業会計

	補正額	総額		補正額	総額
収益的収入	0万円	2億2,466万円	資本的収入	0万円	4,000万円
収益的支出	161万円	1億9,625万円	資本的支出	0万円	1億3,044万円

### 公共下水道事業会計

	補正額	総額		補正額	総額
収益的収入	203万円	8億555万円	資本的収入	174万円	7億1,285万円
収益的支出	203万円	8億555万円	資本的支出	174万円	8億2,939万円

## 主な条例案件

- **印鑑証明書のコンビニ交付の際にスマートフォンに搭載されたマイナンバーカードの電子証明書が利用できるようになります。**
  - **中央市印鑑条例中改正の件（施行日：公布の日）**

【主な改正内容】 ・法律改正により、個人番号カード所有者は移動端末設備（スマートフォン）に電子証明書の搭載が可能とされ、マルチコピー機による印鑑証明書のコンビニ交付にスマートフォンの電子証明書を利用する場合を追加するもの（第15条関係）
- **総合防災公園の供用開始に向け、「サッカー場」と「芝生広場」を有料公園施設と定めます。**
  - **中央市都市公園条例中改正の件（施行日：令和6年2月1日）**

【主な改正内容】 ・中央市総合防災公園内にある「サッカー場」及び「芝生広場」を有料公園施設と定めるもの（第3条関係）
- **総合防災公園内の「サッカー場」と「芝生広場」の使用料を定めます。**
  - **中央市使用料徴収条例中改正の件（施行日：令和6年2月1日）**

【主な改正内容】 ・サッカー場 昼間：650円/時間 夜間：1,250円/時間  
 ・芝生広場 昼間：1,600円/時間 夜間：2,200円/時間  
 ※市外者が利用する場合は昼間・夜間ともに2倍の金額とする。（別表関係）



田富西ランプ交差点から見たサッカー場・芝生広場



スポーツ広場はすでに利用が始まっています

## 請願審査・意見書の提出

### ○深刻な教職員不足を改善する方策の実施、現存の加配定数を維持した上での小学校三十五人学級の実施、中学校における三十五人学級の実現、義務教育費国庫負担制度堅持と教育予算拡充を図るための請願書

- ・ 請 願 者      中央市PTA連絡協議会                      会長              高野 慶介  
                   中央市公立小中学校長会                  会長              田中 真也  
                   中央市公立小中学校教頭会                  会長              大原 千栄子  
                   山梨県教職員組合中巨摩支部              執行委員長      中込 太樹
- ・ 紹介議員      笹本 昇
- ・ 審議結果      採択

### ○深刻な教職員不足を改善する方策の実施、現存の加配定数を維持した上での小学校35人学級の実施、中学校における35人学級の実現、義務教育費国庫負担制度堅持と教育予算拡充を図るための意見書

9月22日可決 議会から国へ提出

- ・ 提出議員      中沢 美恵
- ・ 賛成議員      笹本 昇              小池 章治
- ・ 要 旨

1. 深刻な教員不足を改善するための方策を早急に実施すること。
  1. 小学校の35人学級実施にあたり、子どもたちのよりよい学びを実現するために、現存の加配定数を維持すること。
  1. 少人数教育の高い教育効果から、35人学級を中学校にも導入するよう積極的な検討をすすめること。
  1. 教育条件の格差解消を図るため、国における教育予算を拡充するとともに、義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- 以上の措置を講じられるよう強く要請するもの。

- ・ 提 出 先      衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣

## 第3回臨時会

第3回臨時会が8月18日に招集され、市長提案の補正予算1件を審議しました。  
また、報告案件1件が報告されました。

### ○令和5年度 一般会計補正予算(第3号)

4億3,150万円を増額              総額150億5,571万円に

【主な改正内容】

●商工費

ふれあい館等管理運営事業(シルク工芸館ふれあい館改修)              4億3,150万円

○賛成 ×反対 (井口 貢 議長を除く)

# 臨時会・定例会審議結果

種別	案件名	フォーラム中央											至誠会		日本共産党	結果				
		副議長	田中輝美	田中一臣	福田清美	小池章治	金丸俊明	齊藤雅浩	山本六男	笹本昇	葉袋正	中沢美恵	志村勇	有泉誠	内藤巧		山村一	江間政雄	新海一芳	木下友貴
<b>第3回臨時会</b>																				
補正予算	一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<b>第3回定例会</b>																				
条例案件	印鑑条例中改正の件																			
	都市公園条例中改正の件																			
	市営夜間照明施設条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	使用料徴収条例中改正の件																			
令和5年度補正予算	一般会計補正予算(第4号)																			
	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)																			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																			
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域包括支援センター特別会計補正予算(第1号)																			
	簡易水道事業会計補正予算(第1号)																			
令和4年度決算認定	公共下水道事業会計補正予算(第2号)																			
	一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件																			
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件																			
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件																			
	地域包括支援センター特別会計歳入歳出決算認定の件																			
	田富よし原処理センター事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	簡易水道事業会計決算認定の件																			
	公共下水道事業会計決算認定の件																			
その他	農業集落排水事業会計決算認定の件																			
	上水道事業会計決算認定の件																			
	市道路線認定の件																			
	市道路線廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	市道路線変更の件																			
	契約締結の件																			
意見書	深刻な教職員不足を改善する方策の実施、現存の加配定数を維持した上での小学校三十五人学級の実施、中学校における三十五人学級の実現、義務教育費国庫負担制度堅持と教育予算拡充を図るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	深刻な教職員不足を改善する方策の実施、現存の加配定数を維持した上での小学校35人学級の実施、中学校における35人学級の実現、義務教育費国庫負担制度堅持と教育予算拡充を図るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



市長の  
行政報告リニア中央新幹線を活かした  
まちづくり

現在、まちづくりに関するご意見等を幅広くお伺いし、今後の検討に活かしていくために、土地所有者及び市民の皆様を対象としたアンケートを実施し、また、県内外の企業ニーズを把握するための調査の準備を併せて進めているところです。

今後は、プロジェクトチームの調査・研究の成果と、土地所有者及び市民の皆様のご意見や企業ニーズを基に、都市計画法に基づく

区域指定、幹線道路整備計画の検討など、新規に取り組みを進めている

関連施策を総合的

に勘案し、土地利用の基本的な考え方をとりまとめていきます。引き続きスピード感を持って、新たなまちづくりの方針・方向性を示すことができるよう取り組みます。

## 中央市山梨県人会の開催

6月30日に、4年ぶりの対面開催となる中央市山梨県人会の総会と懇親会を東京都内で開催し、総会後の懇親会では、中央市の地元特産品を堪能していただきながら、お互いの近況報告やふるさと談議などで親交を深めていただきました。私からは皆様に、リニア整備に伴うまちづくりの推進など、本市を取り巻く環境を最大限活用していく大事な局面を迎えていることをお伝えし、各方面からのご支援・ご協力をいただけるよう、今後とも会員相互の親睦や交流を深め、ふるさとの発展につながるよう、より強固なネ

ットワークづくりに努めます。

## 田富北小学校新校舎の竣工

田富北小学校の新校舎が完成し、7月23日に竣工式を行いました。新校舎は、ユニバーサルデザインを推進し、インクルーシブ教育の構築に向けた「安心な施設」、環境負荷の低減に配慮した「快適な施設」を特徴とし、現在の教育施設として求められている水準を満たしているものとなっております。今後は、仮設校舎の解体や校庭の整備など、残る事業を計画的に進めながら、当校がこの地域の教育の拠点として、児童の心身の健全な発達のため、また、市の将来を担う子ども達の健やかな成長のために、充実した教育環境を提供できるよう努めます。

## (仮称) 中央市デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定

昨年度は、社会情勢の変化を踏まえた地方創生の加速化・深化を目的として、まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、新たにデジタル田園都市国家構想総合戦略を策定しまし

た。国はこの新たな構想を、新しい資本主義の重要な柱の一つとして位置づけ、地方の社会課題を成長のエンジンへと転換し、持続可能な経済社会の実現や新たな成長を目指すことを基本方針としています。こうしたことを勘案し、本市においてもデジタル技術の浸透・進展などを踏まえつつ、人口減少対策や本市の魅力向上を戦略的に進めるために、第2次中央市まち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂し、新たに(仮称)中央市デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定を行うこととしました。今後、外部有識者会議を中心に戦略の方向性や具体的な事業等について広く意見を伺い、私が公約として掲げている施策との関連性を意識しながら、これまでの施策に改善を加え、デジタルの力を活用して地方創生の取り組みを加速化・深化させるための計画づくりを進めます。



**A** **Q**

**上浅利地区一帯の除草管理は**

**市農業振興公社とも連携しながら、地域の皆さまとともに検討していく**

福田 清美 議員

**問：**上浅利地区一帯の除草管理について。

**答：**宇山平地区圃場整備事業地に隣接する、上浅利地区一帯は、平成16年度・17年度に旧豊富村が自然環境保全のため、花桃を植栽し、その後、除草管理については、地権者に代わり当時のシルクの里振興公社、現在の市農業振興公社が行っていたが、公社において管理継続が困難とすることで、現在に至っている。今後については、まずは、土地利用の現況について整理するとともに、地域が一体となって取り組む中山間地域等直接支払制度の活用など、持続可能な農地管理のあり方について、公社とも十分に連携しながら、地域の皆さまとともに検討していく。

**問：**森林環境譲与税の活用策・計画は。

**答：**森林整備及びその促進に関する施策などに使うこととして、国から市町村に交付される森林環境譲与税は、すでに令和元年度から先行して交付されている。市では中央市森林整備計画に沿った事業に充当するとともに、残額を基金として積み立てており、令和4年度末で、約970万円の基金残高となっている。

今後についても、市森林整備計画に即した様々な事業に充当し、円滑な進捗につなげるなど計画的かつ効果的に活用していく。



**A** **Q**

**観光客を呼び込むための施策は**

**シルクの里一帯に大勢の来訪者を呼び込み、その賑わいを市内各地に広げたい**

金丸 俊明 議員

**問：**観光客を呼び込むための施策について。

**答：**観光産業は、本市経済が将来にわたって発展していくために大変重要な産業である。本年6月に策定した中央市観光振興基本計画では、観光客の取り込みに向けて、「中央市の強みを活かした観光資源の充実」、「魅力ある観光拠点づくりと整備」、「時代に即した取り組みの推進」の3つの基本方針を掲げ、それぞれの方針に即した施策を行う。特に、「魅力ある観光拠点づくりと整備」として、本市の観光拠点であるシルクの里一帯の魅力

を充実させ、その中核となる「シルクふれんどりい」の大規模改修に着手し、来年4月にリニューアルオープンを予定している。

＜Ｓｐａｃｅ＞シルクパークなどスポーツ施設との連携により、合宿やイベントの誘致を拡大させ、シルクの里一帯に大勢の来訪者を呼び込み、その賑わいを市内各地に広げたいと考えている。

**問：**新たな地域観光資源を活用した取り組みについて。

**答：**市商工会や市農業振興公社、また、県の関係機関とも連携し、歴史文化や特産品、伝統芸能など隠れた資源の掘り起こしや既にある観光資源の磨き上げを行い、市の魅力向上につなげ、広く情報発信を図り、本市への観光客の立ち寄りを促進していく。

**【関連質問】**

志村 勇 議員

福田清美 議員



**Q** リニア開業を見据えた  
まちづくりについて

**A** 調査を行い、感触が良い企業に対し  
ヒアリングを実施する予定である

山本 六男 議員

**問**：リニア開業を見据えたまちづくりについて。

**答**：企業立地に積極的かつ戦略的に取り組むため、令和4年10月に企業立地推進室を設置し、「中央市まちづくりアクションプラン（仮称）」の策定に向け、取り組み、「まちづくりプロジェクトチーム」を立ち上げ、協議を重ねてきた。また、コンサルタント事業者と本年3月に契約し、関係各課の「重点事業や、促進すべき上位計画の確認・整理」、「市街化調整区域における開発行為の各種法規制の状況及び課題の整理」などの業務を行っている。推進室ではこのほか、「企業相談の受付」「市内の空き用地の情報収集」「進出見込みのある企業への訪問」「プロジェクトチームの運営」等の業

務を行い、8月には、リニア開業を見据えたまちづくりに関するご意見等を伺い、アンケート調査を実施し、更に、400社程度に調査を行い、感触が良い企業に対しヒアリングを実施する予定である。

**問**：企業立地について、問い合わせと今後の進展は。

**答**：企業進出の相談は、推進室設置以降、本日まで21件の問い合わせがあり、製造業が7件、建設業が6件、不動産業が2件、その他は、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、サービス業等

だが、現状では要望に適した用地が見当たらず、まちづくりアクションプランを可能な限り早期に策定し、将来の企業誘致につなげたい。



**Q** 未来のスター応援について

**A** PRの方策等を関係機関とも  
協議する中で、検討していきたい

内藤 巧 議員

**問**：未来のスター応援について。

**答**：将来、本市出身者として活躍が期待される、小・中・高校生などのPRについては、現在も文化、芸術、スポーツ、学問など各分野の県大会や全国大会などで優秀な成績を収めた個人や団体などの活躍は、承知している範囲で、広報紙やホームページ等で紹介させていただいているが、ほとんどが記事の一つとして結果等が中心の掲載内容になっており情報不足などで掲載ができない状況もあり、これらの課題を踏まえ、広報紙やホームページ等への掲載内容や市を挙げて応援できるようなPRの方策等を関係機関とも協議する中で、検討していきたい。

**問**：スイートコーンを冠名にした大会について。

**答**：本年6月17日、4年ぶりに、第6回スイートコーンマラソン&ウォークを実施し、県内外から約500名の皆さまに参加していただき、盛大なうちに終了することができた。また、道の駅とよみでは、6月3日と10日の二日間、スイートコーン収穫祭を行い、3,500名を超える多くの来客があり、スイートコーンを通じた本市のブランド力向上につながったと考えている。今後、市が主催する他のイベントなどの名称に、「可能であればスイートコーンを冠することを検討し、ブランド力をより一層強化しながら、誘客の拡大につなげていく。

【関連質問】

中沢美恵 議員  
江間政雄 議員





**Q**

**物価高騰（ガソリン・他）に対する  
市民生活等への対策・対応は**

**A**

**支援策が決まり次第、早急に  
補正予算を編成し、対応していく**

志村 勇 議員

**問：**物価高騰（ガソリン・他）に対する市民生活等への対策・対応は。

**答：**昨年度から少しでも市民の皆さまや事業者の皆さまの負担軽減を図るための支援をその都度、実情に応じて実施し、その後も、物価高騰の状況を注視しつつ、国、県などの支援策の動向も踏まえ、必要な支援策についての検討を継続してきた。現時点では、県の支援策を踏まえる中で、市として市民生活の経済的負担を軽減するための支援と併せて地域経済を活性化できるような支援策を検討している。支援策が決まり次第、早急に補正予算を編成し、対応していきたい。

**問：**空き家対策・対応について。

**答：**現在の本市においての空き家数は令和4年度の時点で、156

【関連質問】

有泉 誠 議員

福田清美 議員

軒となつている。現状において取り組んできた対策、また今後の取り組みについては、現在までに本市で行った対策として倒壊の恐れがある空き家1軒の代執行を行った経緯がある。通常の取り組みとしては、地域からの苦情や相談のある対策が必要な空き家の所有者等に対して適正な管理や対応をお願いする文書を通知している。今後も、必要に応じて、所有者等に対し適正な管理をお願いし、空き家問題等について広く周知するよう努めていきたい。



**Q**

**学校教育施設の  
樹木等の管理状況は**

**A**

**学校の樹木の管理は、  
基本的に学校で行う**

有泉 誠 議員

**問：**学校教育施設の樹木等の管理状況は。

**答：**今年度は台風等の発生が増えることも予想され、改めて8月上旬に周知し、危険な箇所については報告するように指導した。また、本年6月に市内各小中学校における危険箇所の緊急一斉点検を行い、樹木の枝が遊具付近に張り出し、危険性が高い箇所については予算措置を講じ、対応していく。学校の樹木の管理は、基本的に学校で行い、軽微なものについては教職員等が、その他基本的には業者委託で対応している。

**問：**学校教育施設を除く各公共施設及び公園施設の樹木等の管理状況について。

**答：**公共施設は、それぞれ担当

課により総合的に施設管理を行い、必要に応じて剪定や伐採など、樹木管理を行う。公園施設は、都市公園や条例で設置が規定されている公園、比較的規模の大きな地区公園などは、市で管理し、特に、園内に多くの樹木がある公園については、年間をとおして剪定等の管理委託を行い、それ以外の公園は、不定期で職員による園内の全体的な点検により危険な箇所がないか確認している。大木化して危険度が増している樹木については、剪定や伐採などの手入れを計画的に行えるよう優先順位を見極め、適切な維持管理を心掛けている。

【関連質問】

志村 勇 議員

江間政雄 議員



**Q**

**田富福祉公園コミュニティセンターについて**

高齢者はもとより市民全体の健康増進や福祉の充実に向けて取り組んでいく

小池 章治 議員

**問：**田富福祉公園コミュニティセンターについて。

でいく。

**問：**地域おこし協力隊について。

**答：**本市の公共施設は、老朽化や機能低下がみられる施設が多く、全ての公共施設の改修、更新は財政的にも厳しいことから、公共施設の最適な配置を検討し、令和4年3月中央市公共施設等第1期個別施設計画の改訂で、田富福祉公園コミュニティセンターは温泉機能の集約、建物解体の方針が示された。温泉入浴に代わる健康増進施策や施設の活用策について、他地域の事例の調査や民間事業者へのヒアリングを行い、集約先であるシルク工芸館ふれあい館の利用促進の施策を検討している。高齢者はもとより市民全体の健康増進や福祉の充実に向けて取り組ん

**答：**課題としては、期間満了後も引き続き定住してもらえらるよう、親身な支援が必要であった。今回の隊員募集は準備を進めており、支援機関の選定が完了次第、隊員を募集する。期待する活動は、農業経営を軌道に乗せ、地域活動への参加、市のPR等の情報発信に期待する。そして任期終了後は、定住及び就農を望む。来年度以降も目的達成に向けて、農業従事のみならず他の成功事例なども参考に受け入れを行っていききたい。

【関連質問】

江間政雄 議員

田中輝美 議員



**Q**

**本市におけるDXの意義及び展開は**

「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」の実現である

田中 輝美 議員

**問：**本市におけるDXの意義及び展開について。

リテイ対策も強化していく。

**問：**子ども議会の開催について。

**答：**DXとは、情報やサービスの提供、行政手続き、市民とのコミュニケーション等の自治体のあり方を、デジタル技術の活用により、市民サービスの質や効率を大幅に上げ、その意義は、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」の実現である

**答：**中央市の未来を担う中学生（子どもたち）が、市政や政治に関心を深め、中央市の将来について考え、議会で質問や提案をすることにより、社会への参画意欲を培うことは意義のあることだと考える。子ども議会の開催については、中学生の非常に忙しい状況を踏まえると、現段階では、子ども議会の開催については考えていないが、今後、生徒や学校などから開催要望がある場合は、検討していく。

【関連質問】

齊藤雅浩 議員

志村 勇 議員

DXの展開のため、今後もしらなるICTの導入、AIやIoTを活用したサービスの向上、システム統合やクラウド移行等、情報インフラ整備に向けて情報収集や検討を進める一方、セキュ



**A Q**

**公営住宅の連帯保証人について**

家賃等債務保証業者の利用を含め、山梨県や他市の状況などを調査、研究していきたい

木下 友貴 議員

**問：**公営住宅の連帯保証人は。

**答：**市営住宅の入居に係る連帯保証人については、中央市営住宅条例の規定により、連帯保証人の連署した賃貸借契約書を提出することとしており、連帯保証人は市営住宅の適正な管理において、重要な役割を担っていることから、現段階では1番目の保証人規定をなくすことや連帯保証人の確保が困難な申込者に対して、市長の判断で免除する旨を規定することは考えていない。しかし、国の公営住宅の保証人に関する制度の趣旨や単身高齢者の増加等による社会状況の変化で保証人の確保が一層困難になるなど、市としても、これらの対応を検討する必要があると感じている。まずは、家

賃等債務保証業者の利用を含め、連帯保証人の取り扱いについて、山梨県や他市の状況などを調査、研究していきたいと考えている。

**問：**市として医療機関・介護事業所・障がい者施設へ物価高騰対策の支援金を支給する考えはないか。

**答：**現在山梨県において、国の公定価格により収入が算定される福祉施設、医療機関等を運営する事業者を支援する「福祉施設等物価高騰支援金支給事業」を実施している中で、現段階では市独自の支援金については考えていない。引き続き、物価高騰等の状況を踏まえ、国や県による物価高騰対策や支援策等の状況も注視しつつ、状況に応じた支援策の検討に努めていく。

**総務教育常任委員会**

**審査ポイント**

**学力向上支援スタッフとは**

使用料徴収条例中改正の件

〈生涯教育課〉

**問：**総合防災公園のサッカー場と芝生広場、使用料がかなり高額だと感じる。一時間あたり芝生で1,600円となると、使うにも躊躇する感じがした。実際利用する市民を考えると、この金額についてどう考えているか。

**答：**今回、芝生の管理ということも考える中で、管理費を含めて料金設定している。

**問：**芝生広場については、占有する場合に使用料をとるということで、現状は施設しているが、今後は開放していくということが良いか。

**答：**施設の利用については、公の施設検討委員会があるので、具体的な活用についても考えていくことになると思うが、憩いの場所なので、通常は開放し、占有する場合に使用料を取るということが理解を得られるのではないかと考えている。

一般会計歳入歳出決算認定の件

〈教育総務課〉

**問：**学力向上支援スタッフというのはどういう人か。

**答：**県でも人材等について支援を行っていたりしているが、先生のサブ的な形についていたただけるような人を各自治体で見つける中で、県で補助を出すといった事業。本市の小学校でも支援が必要な子どもは増えており、学力にばらつきが出ないよう、そういったスタッフを配置している。





## 厚生常任委員会

## 審査ポイント

## 高年齢者通いの場リーダー養成講座の受講者の活躍は

一般会計歳入歳出決算認定の件

## 〈市民環境課〉

問：マイナンバーカードの取得者が増えているようだが、現在の状況は。

答：マイナンバーカードの申請数については、令和4年と令和5年で比較すると、令和4年7月末で申請件数が1万5,435件で申請率が49.83%、令和5年7月末の申請件数が2万6,765件で申請率86.9%となっている。

## 〈長寿推進課〉

問：高齢者オンライン通いの場事業のリーダー養成講座に参加された方たちがどのように地域で活躍されているのか。また、これからの方向性は。

答：令和4年度に24名がリーダー講習会を受けた。その方たちが自分たちだけで教えるというのは難しく、今年度、オンライン通いの場事業を行っているので、そこにサブの講師として

参加いただいている。今後は、他の地域からもスマホ教室をやりたいという要望もあるので、その方たちが講習内容を組んで教えていくまでになれば良いと思うが、しばらくはサブの講師で活躍してもらいたい。

## 〈子育て支援課〉

問：保育園職員の確保が大変な状況にある中で職員が3名減、会計年度任用職員がパートからフルタイムになったということだが、3名減の理由やフルタイムになった会計年度任用職員の待遇は変わったのか。

答：正職員2人が退職、再任用職員1人がパートに移行した。また、会計年度任用職員9名が週5日間で正職員とほぼ同様の働き方をしてクラス担任を持っているため、フルタイムとして一般職員の給与表に準じたものを適用し、処遇改善を行った。

## 産業土木常任委員会

## 審査ポイント

## 玉穂中央通り線整備事業終了後の考えは

一般会計補正予算（第4号）

## 〈産業課〉

問：指定管理者への光熱費の高騰による補てん分の補正があるが、このような場合に市は補てんし続けるのか。

答：20%までの高騰分については指定管理者で支払うが、それ以上については市で補てんをするという取り決めがある。

一般会計歳入歳出決算認定の件

## 〈建設課〉

問：現在、市営住宅の入居者は全体で何人か。また、空きは何戸あるのか。

答：市が管理している住宅は257戸あり、入居数が178戸で、空きが82戸である。

問：空いている82戸は、入居の希望があればすぐにでも入れるのか。

答：取り壊し予定等で入居できない部屋も含まれ、受付可能な空き部屋は17部屋。即時入居可

能な部屋は4部屋で、入居待ちをされている方がおり、手続きを進める予定。

## 〈都市計画課〉

問：玉穂中央通り線整備事業で最終工区が令和6年度とのことだが、この事業の終了後、どのような考えがあるか。

答：今年度、玉穂中央通り線の南への延伸と新環状南通り線の総合会館東交差点から西側の道路の二つの路線に関して概略設計を行っている。基本的には整備済み区間と同じ幅員で、そのまま南と西へ行く計画。

簡易水道事業会計決算認定の件

## 〈水道課〉

問：監査委員の意見に広瀬ダムに係る共同施設負担金で水利権について指摘されたが、担当課としてどのように考えているか。

答：課題であり、早急に活用方法を見出ししていきたい。



## 総務教育常任委員会

- ◆日時 令和5年7月24日
- ◆テーマ 二子塚古墳の発掘調査について  
富岳通運株式会社との災害協定締結に伴う  
山梨中央ロジパークの現地確認

総務教育常任委員会では上記の2つのテーマで現地視察を行いました。

二子塚古墳では、古墳がつくられた時代背景や発見された経緯、今後の保存方法など担当課から説明を受けました。委員からは、発見された土器などの保管場所や方法などについて意見が出ました。

山梨中央ロジパークでは、富岳通運の担当者から施設の概要について説明を受けた後、施設内を見学しました。委員からは災害時の受け入れ体制等について多くの質問や要望等がありました。



世紀の大発見のスケールを実感しました



## 厚生常任委員会

- ◆日時 令和5年7月24日
- ◆テーマ 豊富放課後児童クラブの移転に伴う整備状況について

厚生常任委員会では、今年4月に旧豊富庁舎に整備移転された豊富放課後児童クラブの現地視察を行い、施設の整備内容や運営について担当課から説明を受けました。

比較的広い活動エリアや机が配置された学習エリア、奥には静かな読書スペースなどが整然と整備されていました。すでに夏休みに入っていたこともあり、活動エリアでは大勢の児童がにぎやかに体を動かしていました。

各委員は、支援員の先生や子どもたちと直接交流しながら運営状況を問いかけるなど、子どもたちの笑顔がうかがえる視察となりました。



支所と児童クラブは区切られています



## 産業土木常任委員会

- ◆日時 令和5年7月24日
- ◆テーマ 宇山平地区圃場整備について

産業土木常任委員会では、豊富宇山平地区圃場整備について現地視察を行いました。現地において、山梨県中北農務事務所の担当職員から、図面を見ながら宇山平地区の事業概要と進捗状況の説明を受けました。委員からは、工期中の豪雨対策や減歩率の割合、地権者の事業費の負担等についての質問が出ました。地区内の基盤整備、道路整備が行われ、今後の農業振興に大きな発展が期待できる事業であると感じました。



大規模な整備が進められています

# 市民の談話室



下成島1区  
内藤 大智 さん

## てっぺんを目指して

ぼくはバスケットをやっている。小学6年生で背番号は5。出会いは、1年生の時に友達のお兄ちゃんの試合を見に行き、かっこよさに憧れ、ぼくのバスケット人生が始まった。

5年生の冬、試合終了のブザーが鳴る。負けたあの日のことは、今でも覚えている。

6年生になった今、あの冬がまた近づいてきた。絶対に勝つという気持ちで、毎日練習を頑張っている。チームプレイなので、みんなが同じ気持ちでないと感じ、一人でやっていると思うときもあった。勝ちたい思いが強すぎて、仲間につきい言い方をするときもある。でも練習が終わると上下関係なくコーチも一緒にくだらない話を笑ってできるぼくのチームは最高のチームだと思う。

このチームで今年こそ、てっぺんを目指していく。これまで支えてくれた、両親や、コーチ、チームメイトに感謝の思いを忘れず、残りのミニバス人生を仲間と一緒にプレイしていきたい。



鍛冶新居  
川口 あけみ さん

## 中央市に住んで

我が家が中央市に家建て、住むようになってから、23年になります。中央市は緑が多く、商業施設や医療施設も充実していて、便利で住みやすい所だと思います。

子どもが小さい頃、中央市の企画で、バスハイクに連れて行っていただいた思い出もあります。小学生になると、毎日のように児童館に通い、楽しく遊ばせていただきました。また、知人の家族に認知症の症状が出た時、市役所の包括支援センターに相談すると、すぐに保健師さんが訪問してくださり、認知予防のサロンを紹介してくださるなど、ていねいに対応してもらい、助かったとお聞きしました。市町村によっては、そこまで手厚いサービスが受けられない所もあるので、中央市の住民は恵まれていると感じました。

日本中で少子高齢化が進んでいて、中央市も例外ではないと思いますが、子育て世代にも、高齢者にも快適な中央市に住み続けられるように、私にできることは何かを考え、協力していきたいと思っています。

## 編集後記

9月議会中は秋の気配をあまり感じない夏真っ只中の気候でした。気象庁の発表によると観測史上一番暑い9月だったそうです。今年は年間通してみても観測史上最も暑い年になりそうとのことで、暑さ対策に特に苦心した年だったと思います。

今年はコロナ対策が緩和されたこともあり、各地でお祭りやイベントが帰って来ました。中央市でも「中央市ふるさとまつり」が4年ぶりに開催される予定です。多くの方の参加で大成功することを願っています。

今議会にもいくつか関連した議案が出されましたが、防災公園が完成に近づいています。体育館はもう少しかかりますが、公園部分は今年度には利用開始の予定です。市民が集う新たな場所になることを期待しています。

## 議会広報編集委員会

委員長	木下 友貴
副委員長	内藤 巧
委員	有泉 誠
	中沢 美恵
	江間 政雄
	田中 輝美

## ◎表紙の写真

いつも畑仕事を頑張ってくれている私のおばあちゃんを撮りました。写真撮らせてと言ったら収穫したトマトを片手に笑顔でこちらを見てくれました。

※ご応募いただいた写真のなかから編集委員会で選考しました。みなさまのご応募お待ちしております。

